

## 令和9年度以降の下水道施設整備方針の見直しに対するご意見及びご意見に対する考え方

パブリックコメント募集期間:令和8年1月13日(火)から令和8年1月26日(月)まで

ご意見数:2件

No.	意見概要	回答案
1	<p>水道料金のほか、市の収納全体にクレジット払いや電子決済などの導入を進め、コストのスリム化やポイントの還元などを検討してほしい。</p> <p>また、上下水道の安全性の確保については、市内の企業や学校との連携により最新の技術を駆使した管理体制を構築していただきたい。</p> <p>適正な管理のためには料金の値上げも必要であり、当然市民の理解が必要であることから透明性の高い事業運営をお願いしたい。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>赤荻槻本ルートの下水道整備を要望する。</p> <p>今回の見直しにより一つの民区内で整備状況に差ができることで、生活環境が分断される懸念がある。</p> <p>赤荻槻本エリアは避難所や街区公園にもほど近く、かつ毎年世帯数が伸びている状況からも、計画見直しの方針について再考してほしい。</p>	<p>下水道事業は公営企業として、経営状況や財政状況をより明確にし、経営の健全化・効率化を図りながら事業運営を行っております。</p> <p>下水道施設整備計画の見直しに際しては、各ルートの人口の動向や近年の宅地化の状況及び下水道整備に要する費用に対する経費回収率を基に総合的な評価を行い、下水道の整備に適しているかについて検討を行いました。</p> <p>人口の減少による使用料金収入の減少と、物価の高騰などによる維持管理費用の増加により、下水道事業を取り巻く状況は厳しさを増しています。そのような状況から、既に下水道の整備を完了した区域と同等以上の評価が得られない区域は、新たな下水道整備を行わない方針としたところであります。</p>